平成30年度第1回四街道市みんなで地域づくり推進委員会　会議要旨

【開催日時】平成30年6月18日（月）9時00分～11時45分
【開催場所】四街道市役所5階第1会議室
【出席者】（委員）庄嶋委員、関委員、中山委員、田中委員、金子委員、賀川委員
（事務局）永易部長、岩林課長、安永係長、齋藤主査補、友藤主事、橋本主事
【傍聴者】25人
【会議次第】
1　開会
2　委嘱状交付
3　経営企画部長あいさつ
4　委員長及び副委員長選出
5　委員長あいさつ
6　議事
みんなで地域づくり事業提案制度（平成29年度実施）の事業ふりかえり
7　閉会

【会議概要】
～開会～
（事務局）
定刻になりましたので、ただ今から、四街道市みんなで地域づくり推進委員会を開催いたします。
本日の出席委員は6名で、欠席委員はおりませんので、四街道市みんなで地域づくり推進委員会要綱第7条第2項に規定する過半数に達しており、本日の会議は成立いたします。

～委嘱状交付～

～経営企画部長あいさつ～

～委員長及び副委員長選出～
・委員長に庄嶋委員、副委員長に中山委員を選出

～委員長あいさつ～
・会議録の作成・公開にあたっての発言者明記について
（庄嶋委員長）
議事に先立ちまして、会議録における発言者名については「審議会等の会議の公開に関

する指針の解釈運用基準」の規定により、原則として明記することとなっておりますので、本委員会においても明記する取扱いとしたいと存じますが、委員の皆様のご意見をお伺いします。

（異議なし）

異議なしと認めます。本委員会における発言者名を明記する取り扱いとします。

・傍聴人の確認、会議の公開・非公開の決定

（庄嶋委員長）

傍聴希望の方がいるか確認をします。事務局、いかがですか。

（事務局）

はい、いらっしゃいます。

（庄嶋委員長）

会議の公開・非公開につきましては、議事運営に支障が認められる場合は非公開になりますが、本日の議事内容におきまして支障はないものと考えますので、『審議会等の会議の公開に関する指針』の「３．会議の原則公開」の規定により公開とし、入室を認めたいと思います。

また、会議資料につきましては、「審議会等の会議の公開に関する指針の解釈運用基準」の規定により、議事次第については、配布するものとされておりますが、その他の資料の配布については本委員会の判断によるものとされております。私としましては、資料については、平成２９年度のコラボ四街道採択事業一覧と、公開事業報告会のスケジュールを配布することとしたいと存じますが、委員の皆様の意見をお伺いします。

（異議なし）

異議なしと認めます。傍聴者の入室を許可し、資料を配布することとします。

～議事～

・みんなで地域づくり事業提案制度（平成 29 年度実施）の事業ふりかえり

各事業実施団体による事業報告及び質疑応答を実施

（事業報告内容省略）

1. 四街道こどもまちづくりプロジェクト実行委員会

－質疑応答－

（金子委員）

こどもスタッフの作業日が多すぎたというのはどういった状況だったのですか。

（団体）

子どもたちにお店を考えて作ってもらうところまでを作業としていますが、作業が早く終わってしまう子が多かったため、今年度は作業日を少し減らしています。

（中山委員）

会場は体育館と公園の両方で行っているようですが、機械類の運用はどのように行っているのですか。

（団体）

お仕事センターではタブレットを使用していますが、モバイルルーターを持参して使用しているため、環境に依存せず使用できます。

（関委員）

イベントは千葉市との境目で行っていますが、千葉市の市民団体等と連携していく予定はありますか。

（団体）

今はまだできていないですが、将来的には連携したいと考えています。

2. DAINICHI　貯筋クラブ

－質疑応答－

（中山委員）

本の読み聞かせに関しては経験者がいらっしゃるのか、もしくは専門的な知識を持った方が行っているのでしょうか。

（団体）

ほとんどは読み聞かせを経験したことがある方が行っています。経験はないけれども、習いながら貢献したいという方もいます。6～7 名いる中で、3 名が貯筋クラブの会員で、活躍の場が広がっています。また、無料で使わせていただいている施設への恩返しとしても機能しています。

（金子委員）

活動拠点は今後も継続して使えるのでしょうか。

（団体）

今後も利用可能です。

（田中委員）

施設の中の交流のみでなく、それ以外のボランティアを行う予定はありますか。

（団体）

連携の模索をしています。積極的に行っていきたいです。

（賀川委員）

地域の子どもたちの安全を考え、見守りの意味も込めて、子どもたちの通学の時間にウ

ォーキングを行うというのはいかがでしょうか。
（団体）
　現在はしていないですが、検討事項として考えていきたいです。
－意見－
（庄嶋委員長）
　地域ボランティアと銘打っているため、施設以外にもさまざまな団体と連携して地域に活動の場を広げられるとよいのではないかと思います。

3. よつかいどう和棉ばたけ
－質疑応答－
（田中委員）
　地域との交流という点について。福祉施設等に地域との交流を求めている方がいるため、さまざまな施設と連携して関わることができたらつながりが広がるのではないかと考えますが、そういった計画はありますか。
（団体）
「児童デイサービス くろーばー」で、ものづくりのイベントを開催しました。「NPO 法人はちみつ」とも連携の話を進めていましたが、第 1 農園だと送迎バスの時間が間に合わないということだったため、第 2 農園で活動が可能かどうか相談する予定です。
（中山委員）
　常設の加工場について、常設の場合、相当数の棉が必要になると思いますが、拡大の見通しや、どんな製品があるのか教えていただきたいです。
（団体）
　加工場で利益を出すことは考えていません。活動をしているうちに「四街道の棉」が広まっていけばよいなと思っています。製品については、今までのワークショップでは巾着型ストラップなどを作成しました。今年はブローチづくりのワークショップを開催予定です。糸ができたらコースターなどを作成したいと考えています。
（関委員）
　アンケートを見ると、参加者は特定の年齢層に限られている印象がありますが参加者の年齢層はどのようになっていますか。
（団体）
　普段の活動は平日が多いため、年齢層が偏ってしまうことが多いです。若い方は土日であれば参加できるという意見が多いため、検討していきたいです。

4. 四街道・科学未来からくり倶楽部
－質疑応答－
（金子委員）

使用したコンピュータというのは一般的なパソコンなのでしょうか。

（団体）

昨年度使用したのは一般的なパソコンです。今年度は小さなコンピュータを予算で5台購入したため、それを組み立てて使用します。組み立ては簡単なため、昨年参加した中学生にも参加者への指導の補助をお願いする予定です。指導のメインはIT関係の知識のある方に講師をお願いしています。

（賀川委員）

講座について、はじめからレベル別で募集してはいかがでしょうか。また、体験会だけではなく、定期開催を行うことで技術力アップを図れるのではないかと考えます。コンピュータについて、昨年は予算がなく、参加者にパソコンを持参してもらったということでしたが、参加費を徴収し、コンピュータを持っていない人の分を用意できたらよいのではないかと思います。

（団体）

今年度は、手のひらに収まるサイズのコンピュータを用意し、コンピュータを持っていない人もコンピュータに触れられるようにしてあります。

今年は体験教室の申し込みが多かったことから、内容面でレベルを分けて実施する予定です。体験そのものが目的ではなく、体験してもらうことで、参加者がのちのち団体に入ることで共に活動できる環境にしたいです。

（関委員）

東京情報大学との連携は考えていません。

（団体）

東京情報大学とは、教育委員会を通して情報交換をしています。学生に来てもらって協力してもらうことは、授業の時間帯に被ってしまうことが多く、難しいと考えています。

5. 蔵の図書館

－質疑応答－

（中村委員）

今の開館日だと利用者が自分の都合の良い時に利用するのが難しいと考えますが、開館日を増やすことは難しいのでしょうか。

（団体）

私有地のため、開館時はスタッフがいることが必須であり、人員確保の問題があります。夏休みは子どもも多く、人手にも空きがあるため開館日を増やしています。

（田中委員）

吉岡の地元の高齢者との交流はありますか。

（団体）

来館者は吉岡以外の方が多く、今は、千葉市、佐倉市など少し遠くから足を運んでくる

方が多いです。地元の高齢者の方からも蔵の図書館を応援していただいており、開館日に覗きに来たり、畑を持っている人から植物の苗をいただいた等の交流もあります。

（関委員）

図書館の利用は無料でできますか。また、カフェスペースのようなものが写真にありますが、飲み物等を提供しているのでしょうか。

（団体）

図書館の利用は無料ですが、本の貸出は顔の見える関係である会員になっていただいた方のみに限っています。飲み物については、畑で採れた赤しそで作ったジュースの販売等を行いました。

（金子委員）

利用者は子どもが多いと思いますが、親子で一緒に来ることが多いでしょうか。

（団体）

利用者は幼稚園、小学生、中学生など子どもが主で、親と共に来る小学生が多いです。吉岡小学校では授業でこの場所に訪れる機会があるため、ひとりで来る子どももいます。

－意見－

（関委員）

飲み物を提供するほか、募金箱のようなものを設置して、心づけをいただけるようなスペースがあるとよいのではないかと思います。

6. ちょこっとクラブ

－質疑応答－

（賀川委員）

名称から活動内容のイメージが湧きづらい印象を受けますが、命名の意図はどういったものなのでしょうか。

（団体）

「千代田コミュニティスポーツクラブ」の頭文字を取っている。また、「ちょこっと寄ろう」、「ちょこっと参加しよう」ということで気軽に参加できるようにしたいという意味合いもあります。チラシやのぼり等を出すときはローマ字表記を添え、文字の色を変えることで頭文字を取っていることがわかるようにＰＲしています。

（金子委員）

公民館の有料化に際し、施設の使用料等は会員に負担してもらうのか、もしくは他に活動場所を予定しているのですか。

（団体）

無料で借りられる施設を模索中です。子どもを対象にしたプログラムで千代田幼稚園を借りているため、そこを使用できないかと検討しています。新しく「楽しい気功」というプログラムを始めましたが、それに関しては八木原サロンの空き教室を利用しています。

スポーツ吹矢は 10m程度のスペースが必要になることもあるため、公民館を使用しています。今年は地域の夏祭りに参加し、子どもたちやお祭りに来た方にスポーツ吹き矢やペタンク等を体験してもらいます。好評であれば来年以降も夏祭りでの出展を行い、そこで徴収した参加費を資金として活用する予定です。そういった場で会員も増やしつつ、なるべく会費で負担する部分が大きくならないようにしていきたいと考えています。

（田中委員）

地域で体操や体を動かす活動を行いたいけれども指導者がいないという団体が多いため、そういった団体との連携は考えていますか。

（団体）

DAINICHI 貯筋クラブと連携しており、ある程度成果が上がっています。現在、ちょこっとクラブの会員が増え、千代田地区以外にも市内全般から会員が集まっています。中には自治会や福祉関係の方もいるため、ペタンクの体験会を開く等、必要とあれば協力できる体制にしています。

－意見－

（関委員）

補助金がなくなって活動できなくなってしまう団体のある一方で、補助金がなくとも自立できたというのが大変すばらしいです。課題はあるかと思いますが、これからもがんばっていただきたいです。

（庄嶋委員長）

自治会がやるべきことの中にある専門性の高い部分を受託することで、活動の中で積み重ねていったものが地域に活かされていっています。今後の地域コミュニティのあり方としてすばらしいです。

7. NPO 法人千葉アレルギーネットワーク

－質疑応答－

（賀川委員）

「日替わりシェフの店『さくらそう』」等でのアレルギー相談は、アレルギーの子も、そうではない子も食べられるランチ会というイメージの方が人が来やすいのではないでしょうか。

（団体）

当団体としても、そのように考えています。はじめは、千葉県からアレルギー教室を受託して行っていたが、勉強会に来られない親が多く、勉強会のハードルを下げる意味でも、日替わりシェフの店「さくらそう」で行っていました。相談に来たい方はひととおり来られたのではないかということで、今年からは場所を公民館に変えてアレルギー相談を受け付けています。

（田中委員）

相談会や講座について、子どもたちが集まるような団体等と連携をしてはいかがでしょうか。

（団体）

今回はアレルギーの方向けのアレルギー相談事業ではなく、一般の方にアレルギーのことを理解していただきたいということで子育て支援センターや小学校で行いましたが、講座の開催についてもそういった団体との連携を考えていきたいです。

（中山委員）

開催地を中央小学校だけでなく、ほかの小学校にも広げていってはいかがでしょうか。

（団体）

現在その予定はないですが、子育て支援センターでは 12 月に防災講座を行うことが決定しています。依頼があれば赴くという形を取っています。

8. おしゃべりサロン「ぬくもり」

－質疑応答－

（金子委員）

一部事業をやり残したことがあるということでしたが、それはどういった内容ですか。

（団体）

ボランティアで活動しているため、資金不足で思うように工事ができないことが多くあります。その点は、参加者が知恵を出し合って補い、利用者が安全に活動できるよう工夫しています。

－意見－

（庄嶋委員長）

今回の事業で施設の使い勝手をよくしたことが利用者からも好評で、利用人数も増加していることから、成果が現れていると思います。

今後ともこういった場所が市内に増えると地域に居場所がたくさんできるよう、おしゃべりサロン「ぬくもり」が、居場所づくりのモデルケースになればよいと考えます。

9. おやこカフェツリーハウス(地域づくり部門)

－質疑応答－

（庄嶋委員長）

キーワード的に父親の参加というのがありますが、この事業において日頃の作業と地域づくり部門のアートフェスタの運営スタッフは同じメンバーも多いのですか。

（団体）

どちらにも関わっている方が多いです。アートフェスタは出展者がいるため、その方たちにある程度任せつつ、ツリーハウスのメンバーも参加し、一緒にイベントを盛り上げています。参加した出展者がツリーハウスのメンバーになっていく循環ができればよいと考

えています。
（庄嶋委員長）
　父親のつながりの要因となる集まりは元々あったのですか。
（団体）
　特別集まりがあったというわけではなく、今回の事業を始めるにあたり、友人から友人を紹介してもらうといったような形で輪を広げていき、徐々に増えていきました。
（金子委員）
　ツリーハウスは、アートフェスタ以外にはどのように利用しているのですか。また、地域づくりとしてはどのようなことをしていますか。
（団体）
　純粋にツリーハウスに登りたいという人もいますが、木工やチェーンソーを使いたいという方が多いため、里山の整備事業を手伝いながら、体を一緒に動かすことで参加者とのつながりができればよいと考えています。チェーンソーで切った木は、ベンチや机として活用しています。ツリーハウスをシンボルとし、その周辺で参加者がつくりたいものをつくれるという場にしています。
（中山委員）
　ツリーハウスは、地元の子どもたちにも親しまれるような施設であっていただきたいです。吉岡小学校が近くにありますが、子どもたちが地域に出て行く行事の際は開放するなどして、地元の子どもたちにとって身近な場となるような計画はありますか。
（団体）
　今年度は「Y・Y・NOWSON」で、子どもを対象にした絵本づくりのワークショップが行われるため、その際に蔵の図書館と同時に開放しています。小学生の頃遊んだ子が中学生になって一人で立ち寄れるような場所になれるようにしていきたい。

10. おやこカフェツリーハウス(拠点づくり部門)
－質疑応答－
（金子委員）
　ツリーハウス制作にはどの程度の人数が参加したのか。
（団体）
　ツリーハウス制作において、木に登るような作業は危険が伴うためプロに依頼しましたが、ツリーハウスの下で木を切る作業や、それに色を塗る作業、板を張る作業等は子どもを含めて延べ 100 人程度が参加しました。釘を打つ作業だけでも自分でつくった実感を得られる場となったと考えています。これからも参加者や協賛者を増やしていきたいです。
（金子委員）
　ツリーハウス制作に参加した方はツリーハウスを利用しているのですか。
（団体）

ツリーハウスは私有地のため常に開放することはできないのですが、無料開放日を月に1度設けており、その日は子どもたちがツリーハウスに登って遊べるようにしています。大人は、ツリーハウスの周辺で、チェーンソーを利用して木を切ったり、ものづくり等をして楽しんでいます。また、ファイヤーピットを利用した活動もしていきたいと考えています。

（関委員）

私有地である課題もあると思いますが、今後無料開放日にどのような形で市民を巻き込んだ活用をする予定ですか。

（団体）

無料開放日以外にも有料で貸し出す形で利用できるようにしていいます。冊子等に掲載したところ参加者が多く、お金を払ってこういった場を利用したいという方がいることが判明したため、場所を貸し出すという形で展開していきたいです。

11. 四街道自然同好会

－質疑応答－

（金子委員）

今後も学校支援をできるような体制は整っていますか。

（団体）

今年は6校支援する予定です。活動を見た市外の先生から依頼が来て対応することもあります。現在、学校支援をしている会員は40人ですが、年齢面や、支援先が増えると時間の面でも課題があります。現在は任されているような形ですが、可能であれば、小学校の先生の実力の向上も期待したいです。

－意見－

（庄嶋委員長）

道具類や教材を揃えることで活動が新しくなるというのはとても大切なことであると感じます。今回蓄積したものを、今後の活動に活かしていっていただきたく思います。

12. 四街道グルメチックフェスティバル実行委員会　Animo・wa

（欠席のため、事務局より報告）

－質疑応答－

（金子委員）

今年のイベントはいつ開催する予定ですか。

（団体）

9月23日に開催予定です。

－意見－

（中山委員）

開催が年に１回だけで、出展される食べ物が限られてしまっています。子どもたちも多く参加しているため、子ども向けのものも取り扱っていただきたいです。市内にはお菓子を取り扱っている店も多いことから、そういったところにも声をかけて参加していただき、規模が大きくなったら年に２回程度開催してもよいのではないかと考えます。

（田中委員）

出展団体をどのように募集しているのかが気になります。いろいろな団体に出展する機会を与えていただきたいです。

13. 四街道花とみどりを愛するネットワーク

（欠席のため、事務局より報告）

－質疑応答－

（金子委員）

個人で庭を解放しているため、あまり人が多く来ると今後運営を続けていくのが困難ではないですか。

（団体）

今回は告知方法を家の前に看板を出すのみにしたため、昨年度よりも参加人数は少ない結果となりました。

（庄嶋委員長）

今回の事業であるオープンガーデンのイベント以外にも庭を開放しているのですか。

（団体）

庭を開放しているのはイベント時のみです。

－意見－

（関委員）

当日は一人のみの自宅をオープンガーデンして行ったため、特定の日にいくつかの家でオープンガーデンを開催し、それを回れるようにしていってはどうでしょうか。今後、オープンガーデンがネットワーク化されて常時オープンガーデンを見られるようになれば、四街道の住まいや暮らしのイメージアップにもつながり、価値が高まると思います。

（庄嶋委員長）

庭がより活用され、日常的に開放されるようになるとよいと思います。

7.閉会

（事務局）

それでは、以上で第１回みんなで地域づくり推進委員会を閉会いたします。ありがとうございました。